

事業概要



- 神戸須磨シーワールド開業等に伴い、須磨海浜公園駅の利用者が増加
- 南側階段の利便性向上及び歩行者動線の強化を図るため、
上りエスカレーター1基の整備を計画しています。（2人乗りタイプ）

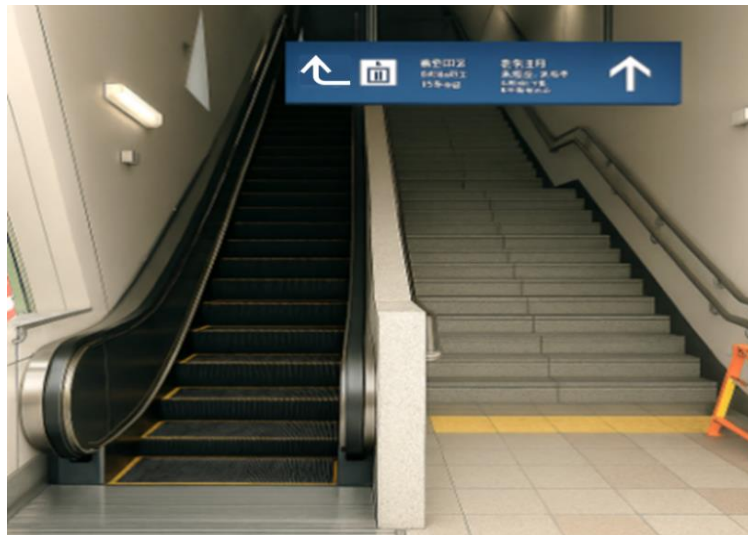
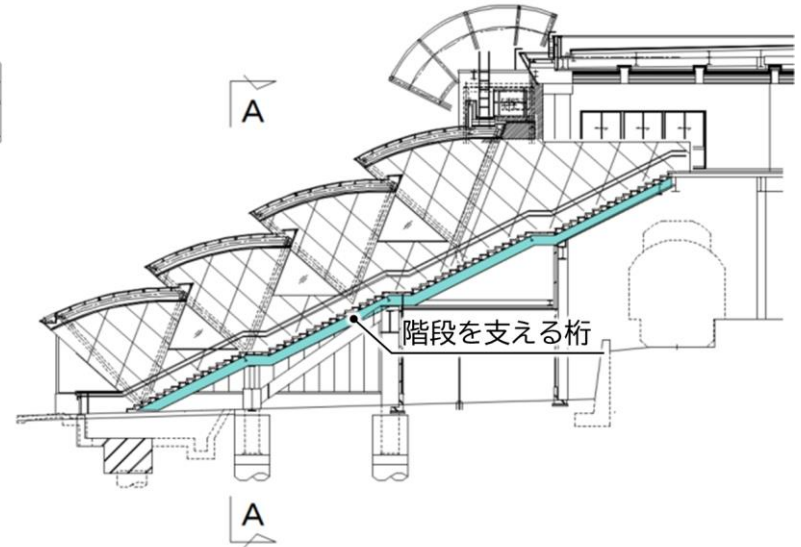
整備箇所



正面断面図
A-A



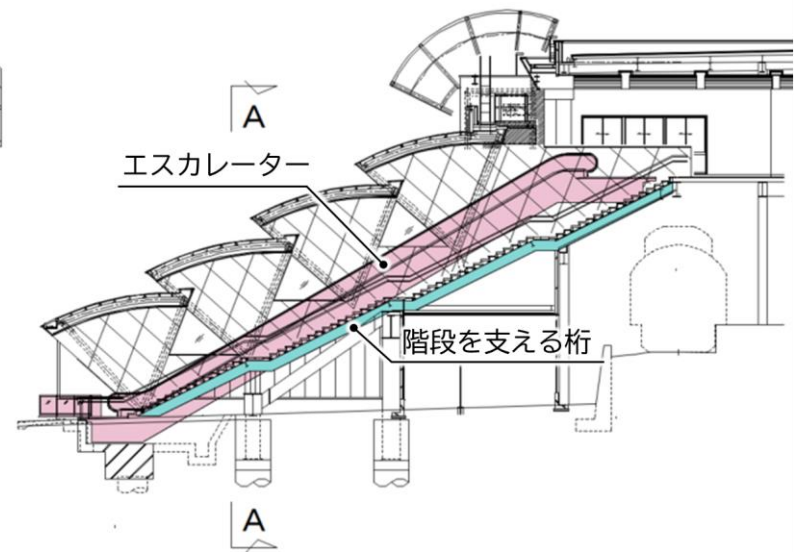
側面断面図



正面断面図
A-A



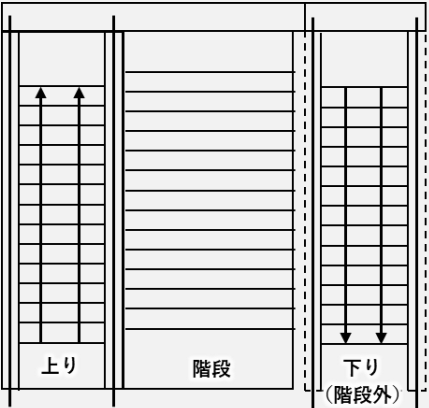
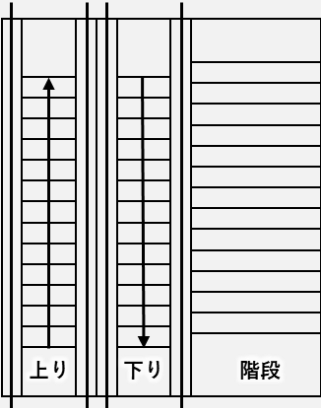
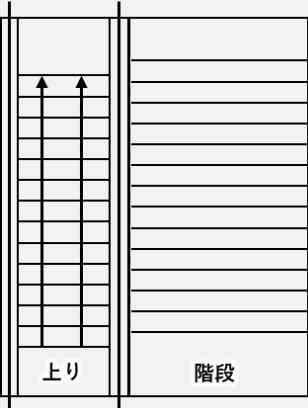
側面断面図



- ・ J R須磨海浜公園駅南側階段へ設置

検討した整備案

- 神戸市では複数の整備案について比較検討を行いました。

案	案①	案②	案③
内容	階段外に上下双方のエスカレーター設置(市有地活用) 	階段内に上下双方のエスカレーター設置 	階段内に上り方向のエスカレーター1基設置 
結論	構造上難しい - JR軌道上での施工 - 鉄道設備の移設 - 工事期間の長期化 - 事業費が大幅増	構造上難しい (+安全上の課題) - 構造上の制約が大きい - 長期間の階段閉鎖が発生 - 階段幅が不足 - 混雑時の安全確保が困難	採用

上下双方向のエスカレーター設置の課題（構造上）

- 階段外に上下双方向のエスカレーターを設置する案①の場合

■課題

- 鉄道（JR神戸線）を
跨いでの工事が発生

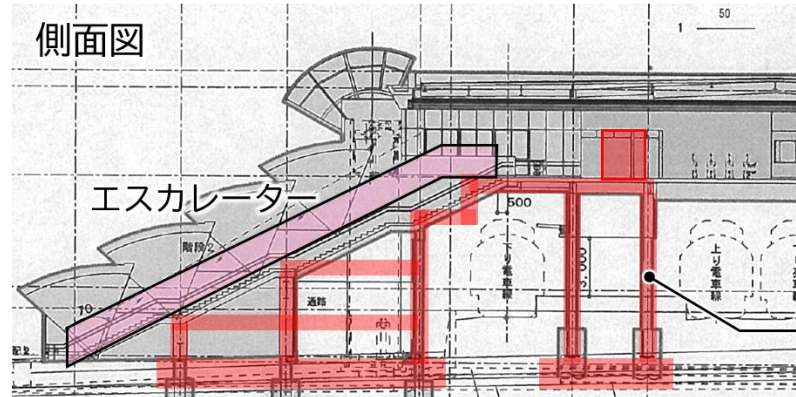
⇒ ホームに新たな構造物の
設置が必要

鉄道設備の移設が必要

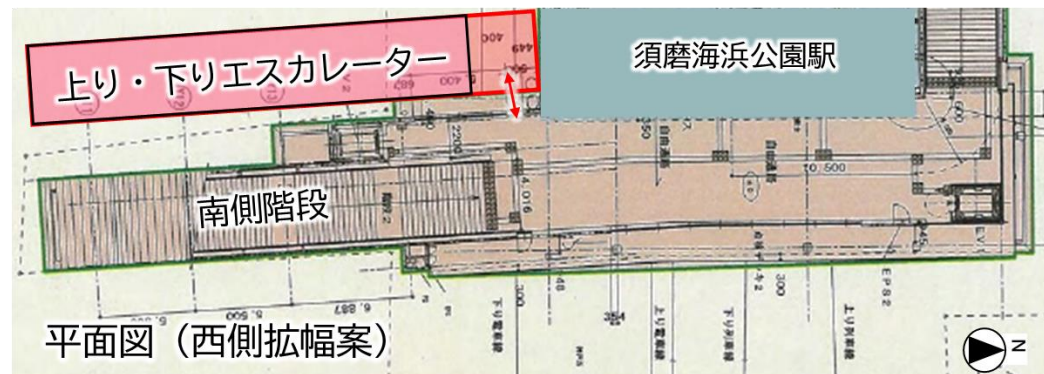
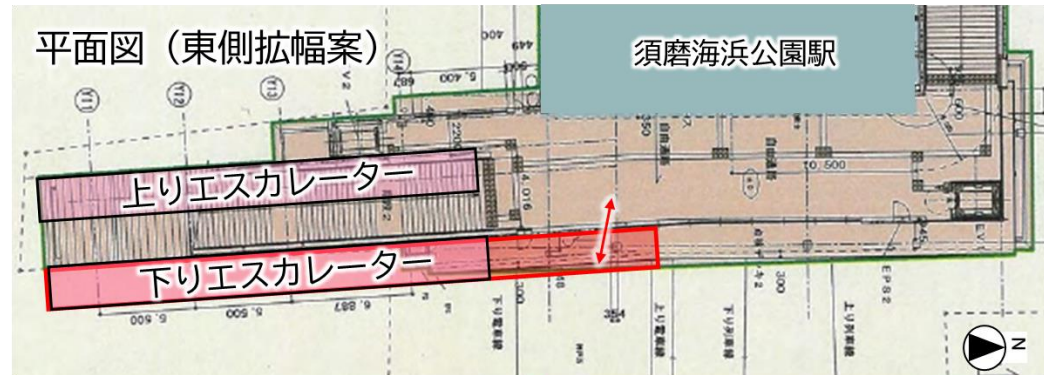
工事期間が長期間となる

事業費が大きくなる

⇒ 構造上難しい



鉄道上での作業や駅ホーム上に
新しく構造物を作る必要がある

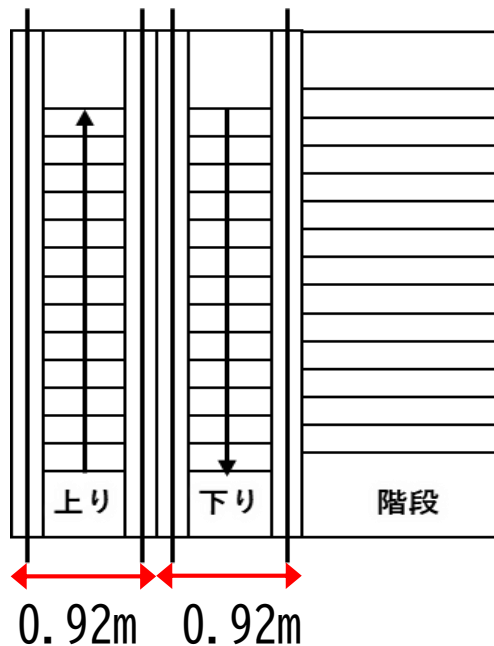


上下双方向のエスカレーター設置の課題（構造上）

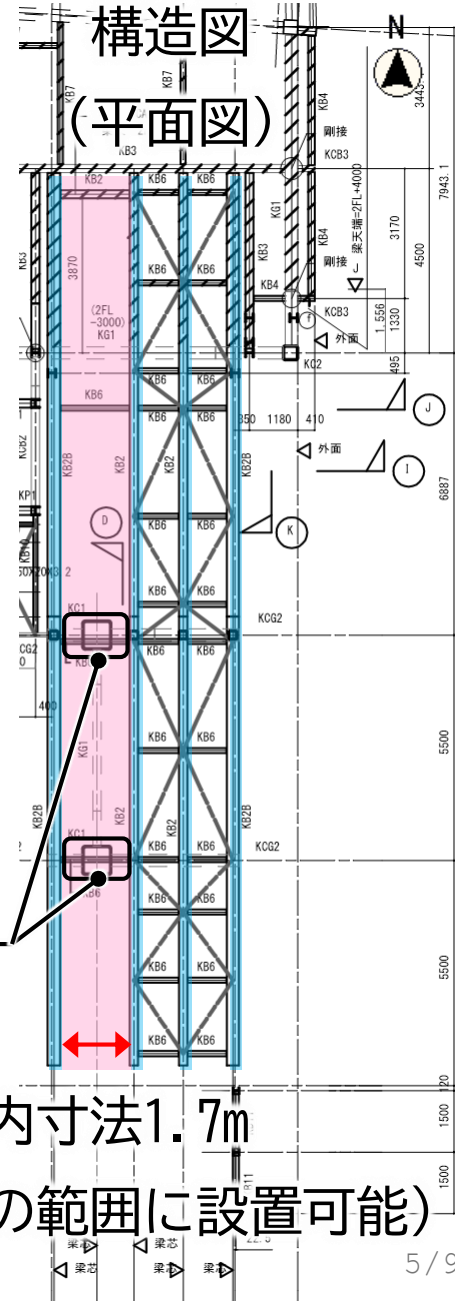
- 階段内に上下双方向のエスカレーターを設置する案②の場合

■課題

- 既存階段の構造上、設置可能な機器幅は最大1.7mまで
 - 1基あたりの機器幅が0.85m以下であれば2基設置可能
- ⇒ 該当する製品がない（最小機器幅が0.92m）



2基で1.84m > 設置可能幅1.7m ⇒ 設置できない



エスカレーターを支える部材（約1.7m分）

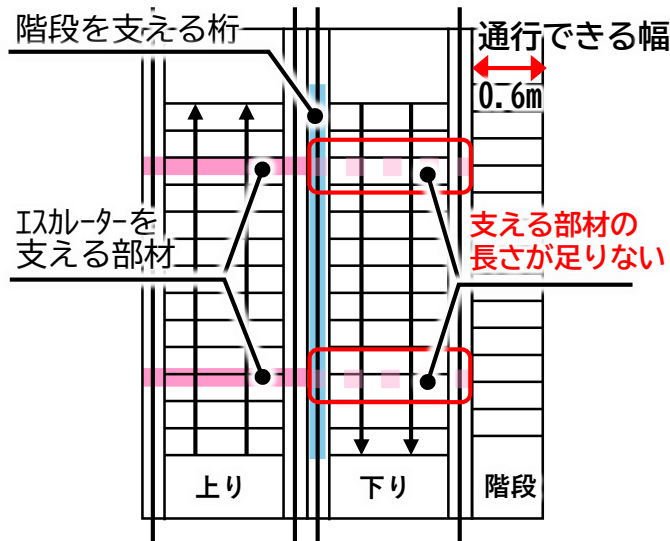
内寸法1.7m

（ピンクの範囲に設置可能）

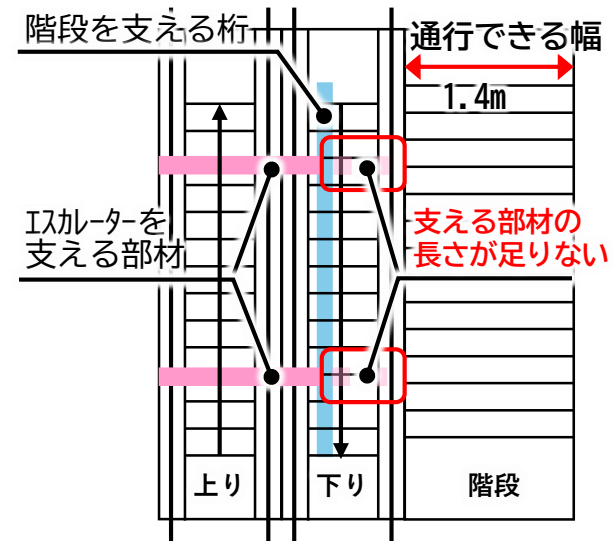
上下双方向のエスカレーター設置の課題(階段幅・構造上)

- 階段内に上下双方向のエスカレーターを設置する案②の場合

案②-1【2人乗り】



案②-2【1人乗り】



■課題

- 階段の通行できる幅が狭い
- 階段の大規模改築が必要
(長期間の階段閉鎖が発生)

■課題

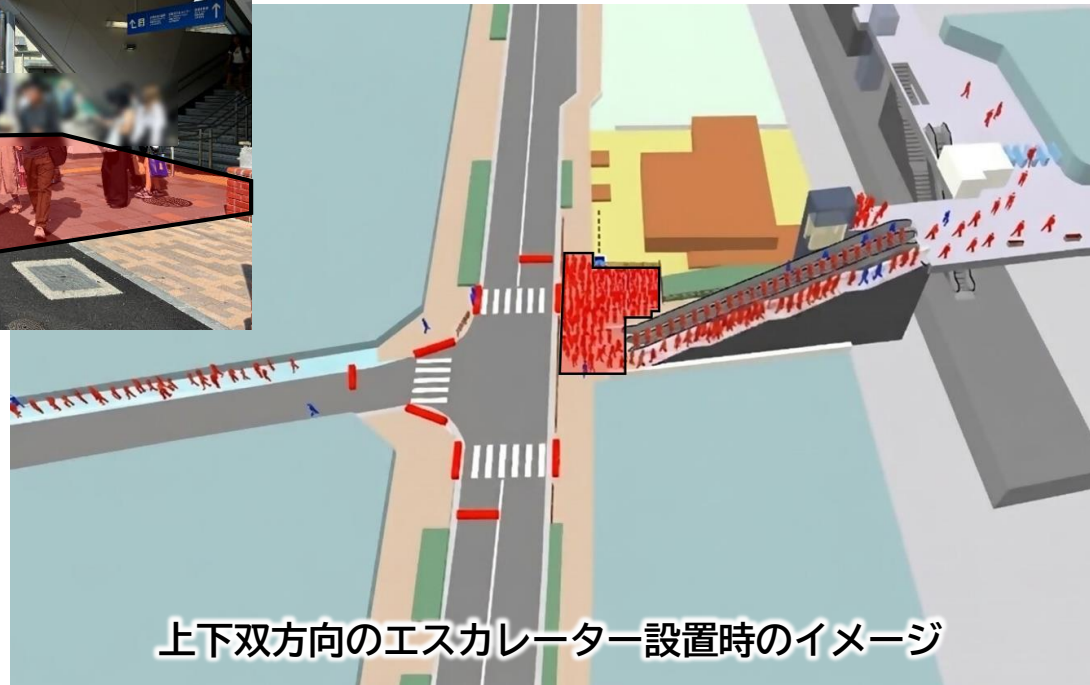
- 階段の大規模改築が必要
(長期間の階段閉鎖が発生)

上下双方向のエスカレーター設置の課題（安全上）

- 階段内に上下双方向のエスカレーターを設置する案②の場合

■課題

- 下りエスカレーターを設置した場合、エスカレーター下の滞留空間不足
⇒混雑時の**転倒事故等のおそれ**



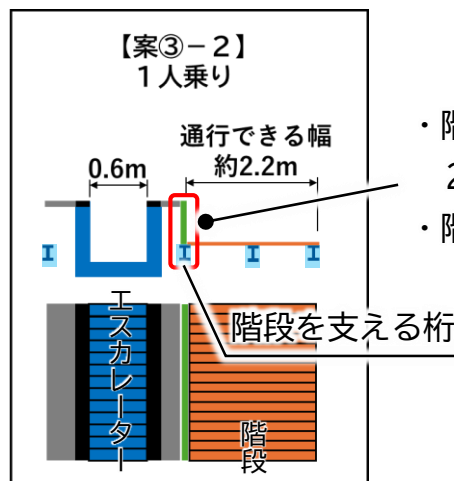
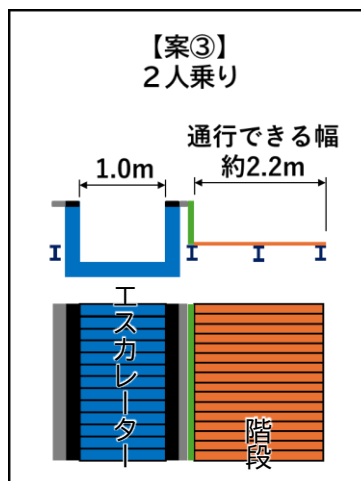
説明会での主なご意見と検討結果

- 【ご意見】
- ・ 上下双方向の設置を希望
 - ・ 上り方向だけなら整備不要

【検討結果】 構造上の制約、階段幅不足、安全上の課題
⇒ 上下双方向の整備は現時点では難しい
⇒ まずは、上り方向だけの整備を計画

- 【ご意見】
- ・ 階段幅員の確保等の観点から 1 人乗りを設置できないか

【検討結果】 1 人乗りでも通行できる階段幅は変わらない
⇒ 2 人乗りの整備を計画



- ・ 階段の壁や支える桁の位置が固定されているため、2人乗り→1人乗りに変更しても階段幅は変わらない
- ・ 階段幅を広くするためには、階段の大規模改築が必要（長期間の階段閉鎖が発生）

- 【ご意見】
- ・ 将来的に上下双方向の整備はできないか

【検討結果】 周辺建築物の更新等に合わせ検討

神戸市の考え方



【現時点で可能な整備】

- 構造条件を満足
- 安全性を確保
- 比較的早期の整備が可能

⇒ 早期の利便性向上を図るため上りエスカレーター1基を整備する計画です



【将来的な方向性】

- 周辺建築物の更新等に合わせて検討